

旭方面隊第2分団第2部が2連覇

海匠支部消防操法大会

6月28日、旭市文化の杜公園で「第48回海匠支部消防操法大会」が行われ、旭市、銚子市、匝瑳市の消防団の代表が日ごろの訓練の成果を競い合いました。旭市では、小型ポンプの部で旭方面隊第2分団第2部が昨年に引き続き最優秀賞（1位）に輝きました。

また、同じく小型ポンプの部で海上方面隊第3分団第3部が優良賞（3位）、ポンプ車の部で旭方面隊第5分団第1部が優良賞（3位）を受賞しました。

最優秀個人賞は次のとおりです。（敬称略）

〈ポンプ車の部〉石橋隆一（旭方面隊第5分団第1部・3番員）、仲村 雅（旭方面隊第7分団第1部・4番員）
 〈小型ポンプの部〉石橋裕樹（旭方面隊第2分団第2部・



▲前方の様子をうかがいながら操作する団員（最優秀賞の旭方面隊第2分団第2部）

指揮者）、木内智史（海上方面隊第3分団第3部・1番員）、谷中一雅（旭方面隊第2分団第2部・3番員）」

サンマの蒲焼丼で米消費拡大

米消費拡大推進事業



▲ボランティアの方に教えてもらいながらサンマを切り分ける女子中学生

米料理を体験することで米の消費拡大と食事の大切さを知ってもらおうと6月30日、第二中学校の2年生がサンマの蒲焼丼づくりを行いました。

ほとんどの生徒が魚を3枚におろすのは初めて。食育ボランティアの指導を受けながらなんとか3枚におろしたサンマで蒲焼を作り、炊き上がったご飯の上にのせました。普段は捨ててしまう魚の骨もせんべいにしました。できあがったサンマの蒲焼丼はとてもおいしそう。時間はまだ朝の9時30分でしたが、ほとんどの生徒が残さずに食べていました。

食事のあとは食育ボランティアの方から「食事の大切さや食べ物への感謝の気持ち」などの話を聞きました。

そーっと、のぞいて見て！

幽学ゆかりの田んぼで生き物調査

都市住民が田植えから稲刈りまでの米作り体験を通して交流を図っている「幽学の里で米作り交流事業」。春に植えた苗が青々と大きく成長したこの幽学ゆかりの水田で7月5日、都市住民と市民152人が参加して、草取りと生き物調査を行いました。

息を殺して田んぼの中にそーっと入っていくと、そこにはバッタやドジョウ、足の生えたオタマジャクシのほか、都会ではめったに見ることのできない生き物がいっぱい。参加者は大人も子どもも一緒にしゃいでいました。

クウシンサイで水をきれいに

クウシンサイ播種作業実演会

6月17日、ため池の水をきれいにしようと、古城小の5年生27人がクウシンサイの種をまきました。作業前には新川改修促進期成同盟会菅谷会長と古城小の伊藤校長があいさつ。「小さなことでも取り組むことによって自分に何ができるか考えるきっかけになる」と話していました。クウシンサイは、ヒルガオ科の野菜で水の浄化にも大きな効果があり、もちろん食べることもできます。

この事業は今年で4年目。長熊ため池が改修工事のため、今年は萬歳の兼田貯水池にクウシンサイのいかだを浮かべることにしています。



▲マットに穴を開け1つの穴に5～6粒ずつ種を入れていきます

逃げられないようにそっ
と近づいていく親子



砂浜に現れた芸術作品

あさひ砂の彫刻美術展2008

あさひ砂の彫刻美術展実行委員会が主催する。“あさひ砂の彫刻美術展2008”が7月14日から21日まで行われました。会場の矢指ヶ浦海岸には、大小あわせて31もの砂像が砂浜に姿を現しました。また、会場内には、親子で参加できる体験コーナーも設けられ、子どもたちは砂まみれになりながら、思い思いの作品を作って楽しんでいました。

20日の午後6時から行われたあさひ砂の彫刻美術展2008大発表会には大勢の人が集まり、オープニングイベントでは、ドウザフラ豊田メイツがフラダンス・ショーを披露しました。暗くなると、砂像のライトアップが行われ、幻想的な雰囲気はまるで別世界。最後には花火が打ち上げられ、訪れた人たちは花火とその光が映し出す砂像の姿に見とれていました。



▲ライトアップされた砂像

親元離れ、集団生活

第2回旭市通学合宿



▲食事の買い出しをする子どもたち

子どもたちが親元を離れ集団生活を行う中で、自主性や協調性を養い、家族との関係を見つめる機会になるようにと、6月19日から3日間、いいおかユートピアセンターを宿泊会場に通学合宿が行われました。参加したのは飯岡小と三川小の5、6年生男女26人。普段家ではあまり手伝いをしないと言っていた子どもたちは、慣れない炊事や掃除などに苦戦しながらも、ボランティアの方たちのアドバイスを受けながら、みんなで協力して、集団生活を楽しんでいました。

飯岡FC大健闘！優勝・準優勝

第17回銚子市スポーツ少年団サッカー交流大会

7月8日、15日の両日、銚子市豊里台多目的スポーツ広場で第17回銚子市スポーツ少年団サッカー交流大会TEPCO杯選手権大会が行われました。近隣市町の12チームが高学年の部と低学年の部に参加し、熱戦が繰り広げられました。高学年の部では、初戦から無失点で飯岡FCが優勝しました。低学年の部の決勝戦は飯岡FC对小見川JFC。PKにもつれ込む接戦の末、飯岡FCは惜しくも準優勝でした。

動物に触れ、いのちの大切さ学ぶ

中央小児童が農業高校で動物ふれあい体験

7月10日、中央小の1年生が普段あまり触れることのない動物たちを間近で見学しようと、旭農業高校を訪れました。子どもたちは、モルモットや子ブタを抱っこしたり、ニワトリの羽を触ったり牛に餌をあげたりして動物たちと触れ合いました。子ブタをはじめて抱いた子は「あったかくって、かわいかった」とにっこり。高校の先生への質問では、「どうしてブタのしっぽは丸まっているの？」などと質問をしていました。最後に高校の先生が「動物は命の大切さや、やさしさを教えてくれるパートナー、友達です。かわいいけどおもちゃではありません。ずっと大切にかわいがってください」と話していました。



▲「私も触れたあーい」やさしくニワトリに触れる子どもたち



◀優勝した飯岡FC高学年チーム

準優勝した飯岡FC低学年チーム▶

